



官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム 地域人材コース

いわて協創グローバル人材育成プログラム

平成 30 年度活動報告書

いわてグローバル人材育成推進協議会



目 次

いわて協創グローバル人材育成プログラムについて.....	1
平成 30 年度年間取組状況.....	2
平成 30 年度派遣学生一覧.....	4
派遣学生報告書 作田 雅之.....	5
派遣学生報告書 口田 脩太.....	7
派遣学生報告書 高橋 佳苗.....	9
派遣学生報告書 高橋 美咲.....	11
派遣学生報告書 吉永 圭吾.....	13
PR ポスター・チラシ/「ふるさと発見! 大交流会 in Iwate」ブース出展.....	15
「いわてグローバル人材育成推進協議会」会員企業・団体.....	16

いわて協創グローバル人材育成プログラムについて

1 目的

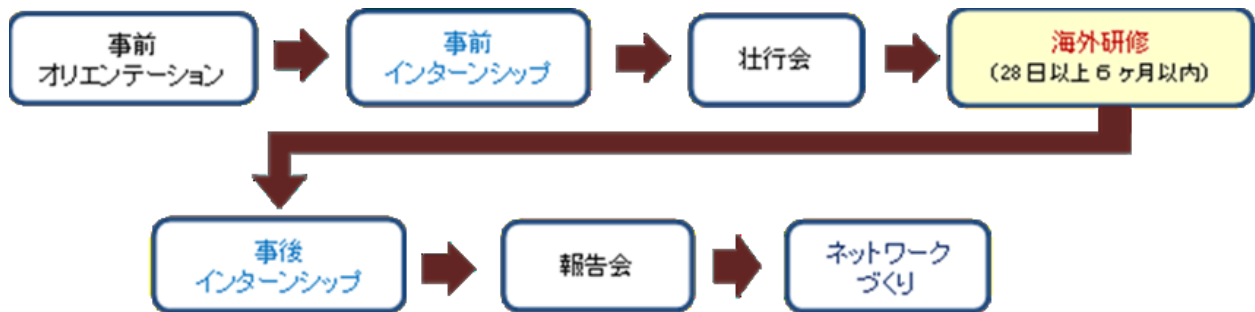
地域のグローバル化を促進するため、学生の海外留学や地元でのインターンシップ等を行うことにより、地域の活性化に貢献する人材を育成することを目的に、文部科学省「官民協働海外留学支援制度～トビタテ!留学 JAPAN 日本代表プログラム～地域人材コース」を活用し、県内学生の留学を支援。

2 プログラム

- A. 県産品販路開拓人材育成プログラム
- B. ものづくり産業海外展開人材育成プログラム
- C. 交流人口拡大促進人材育成プログラム
- D. 持続可能型地域づくり産業人材育成プログラム
- E. 多様性人材育成プログラム

3 プログラム構成

参加学生は留学期間前に事前オリエンテーションに参加し、県内企業などでの事前インターンシップを行った後、28日以上6か月以内の海外留学・研修を行う。帰国後は、研修成果を地域に還元することを目的に、地元企業での帰国後のインターンシップを実施。（インターンシップは事前・事後合わせて20日程度）



4 平成30年度実施スケジュール

平成30年4月10日(火)	申請書類提出期限
平成30年4月16日(月)～27日(金)	第一次審査(書類審査)
平成30年5月12日(土)	第二次審査(面接審査)
平成30年6月23日(土)、7月14日(土)、28日(土)	事前オリエンテーション
平成30年8月6日(水)	地元壮行会 (派遣学生・事務局を含め、55名が参加)

平成 30 年度 年間取組状況

	実施内容	
4 月	4 月 10 日(火)	第 9 期募集締切
	4 月 11 日(水)	第 1 回運営委員会
	4 月 16 日(月)～27 日(金)	第一次書面審査
5 月	5 月 9 日(水)	事務局打合せ (岩手大学・県国際交流協会・県)
	5 月 12 日(土)	第二次面接審査
	5 月 24 日(木)	協議会総会・第 7 期生報告会
6 月	6 月 13 日(水)	事前オリエンテーション打合せ (岩手大学・事務局)
	6 月 22 日(金)	新任事務担当者研修 (文部科学省)
	6 月 23 日(土)	第 1 回事前オリエンテーション (インターンシップに向けてのビジネスマナー等)
7 月	7 月 14 日(土)	第 2 回事前オリエンテーション (企業とのワークショップ)
	7 月 28 日(土)	第 3 回事前オリエンテーション (海外での危機管理、留学計画の最終確認)
	7 月 29 日(日)	全国壮行会
8 月	8 月 1 日(水)	プロジェクトミーティング① (事務局・各大学等)
	8 月 2 日(木)	PR ポスター・チラシ作成に係る企画提案募集
	8 月 6 日(水)	地元壮行会、岩手県知事への表敬
9 月	9 月 3 日(月)～7 日(金)	PR ポスター・チラシ企画コンペ選考
	9 月 12 日(水)	PR ポスター・チラシ選定業者の決定
10 月	10 月 12 日(金)	協議会会員企業訪問
	10 月 21 日(日)	事後インターンシップ先企業訪問
	10 月 24 日(水)	協議会会員企業訪問
	10 月 25 日(木)	協議会会員企業訪問
	10 月 29 日(月)	次年度に向けた情報交換 (事務局・岩手大学理工学部)
	10 月 31 日(水)	PR ポスター・チラシ納品
11 月	11 月 3 日(土)	グローバルキャリアフェア in 岩手 (ホテルメトロポリタン盛岡)
	11 月上旬	PR ポスター・チラシ県内大学等及び協議会会員企業への配布
	11 月上旬	次年度に向けた要望調査 (事務局→各大学等)
	11 月 28 日(水)	第 1 回企業訪問スタディーツアー
	11 月 30 日(金)	北東北国立三大学トビタテ留学報告会

	実施内容	
12月	12月15日(土)	ふるさと発見！大交流会 in Iwate 参加企業、学生への広報
	12月20日(木)	プロジェクトミーティング②(事務局・各大学等)
	12月26日(水)	第2回運営委員会
1月	1月15日(火)	第11期募集開始
	1月16日(水)	学生募集説明会(岩手大学)
	1月17日(木)	学生募集説明会(岩手県立大学)
	1月21日(月)～2月15日(金)	トビタテ！相談デスク2019(岩手大学)
	1月26日(土)	トビタテ！留学相談会(岩手大学)
2月	2月8日(金)	事務局打合せ(県、県国際交流協会)
	2月19日(火)	岩手県留学生就職支援協議会(事業概要説明)
3月	3月15日(金)	県内定着プロジェクトミーティング(企業・大学・事務局)

平成30年度「トビタテ!留学JAPAN 地域人材コース」派遣学生一覧

1	申請プログラム	A 県産品販路開拓人材育成プログラム		
	氏名等	さくた まさゆき 作田 雅之	岩手大学農学部植物生命科学科	3年次
	留学テーマ	リンゴで橋を。岩手からベトナムへ		留学先 ベトナム
	留学期間	2018年9月1日～2019年2月7日(5か月)	インターンシップ	事前:(株)柳家・白金運輸(株) 事後:(株)柳家

2	申請プログラム	E 多様性地域人材育成プログラム		
	氏名等	くちだ しゅうた 口田 脩太	岩手医科大学医学部	5年次
	留学テーマ	ハンガリー ベーチ大学での短期留学		留学先 ハンガリー
留学期間	2019年3月1日～3月29日(1か月)	インターンシップ	事前:岩手県医師会 事後:岩手県医師会	

3	申請プログラム	A 県産品販路開拓人材育成プログラム		
	氏名等	たかはし かなえ 高橋 佳苗	岩手大学人文社会科学部環境科学課程	4年次
	留学テーマ	I DESIGN いわたの木製雑貨で起業!		留学先 英国・フィンランド
留学期間	2018年8月13日～10月25日(3か月)	インターンシップ	事前:岩泉純木家具(有) 事後:岩泉純木家具(有)	

4	申請プログラム	C 交流人口拡大促進人材育成プログラム		
	氏名等	たかはし みさき 高橋 美咲	一関工業高等専門学校物質化学工学科	4年次
	留学テーマ	タイでの多様なコメ食文化を通じて岩手の米の消費拡大を考える ～米麺の可能性・三大麺から四大麺へ～		留学先 タイ
留学期間	2018年8月16日～9月15日(1か月)	インターンシップ	事前:(公財)岩手県南技術研究センター 事後:岩手県農業技術研究センター	

5	申請プログラム	A 県産品販路開拓人材育成プログラム		
	氏名等	よしなが けいご 吉永 圭吾	岩手大学農学部植物生命科学科	2年次
	留学テーマ	かもめの玉子の力で岩手の魅力を世界へ発信!		留学先 台湾
留学期間	2018年8月13日～9月21日(2か月)	インターンシップ	事前:さいとう製菓(株) 事後:さいとう製菓(株)	

作田 雅之

岩手大学農学部 4年

留学先： ベトナム - ハノイ

留学期間： 2018年9月～2月（5か月）



1 留学テーマ

岩手のリンゴをベトナムで普及させるために、ハノイへ留学しリンゴを輸入して販売しました。

2 事前事後インターンシップでの取り組み内容及び成果

事前インターンシップでは柳家様と白金運輸様、JA いわて中央様にて農産物の輸出入に必要な手続きを学びました。事前インターンを通じて販売に必要な知識や海外への農産物輸出における課題点なども学ぶことができ、留学中の販売活動に大いに役立ったと感じています。

事後インターンシップでは柳家様と西部開発農産様に伺い、留学の成果報告を行いつつ地域に密着した農業を学びました。留学で得られた知見を地域の企業様に報告し、今後の事業に対して貢献できたと考えています。私自身も事後インターンを通じて、留学で得た知識・経験をより洗練させることができました。

3 留学先での取り組み内容及び成果

株式会社柳家様の支店『MY OSHI 03』に住み込み、こちらのスタッフと協力してリンゴを販売しました。渡航後約1ヵ月間は語学学校に通いベトナム語を習得しました。こちらの講義を全て英語で受講したため、英語の語学力も同時に上達したと感じています。10月～12月はハノイ市内のスーパー、市場を視察し生鮮食品の調査を行いました。特にリンゴに関しては流通している品種全ての食味調査も行いました。ハノイで出回っているリンゴはニュージーランドやカナダ産が多く、味や食感、香りなどは日本産のリンゴには及ばないものの、『価格の割には美味しい』といった費用対効果は侮れないものでした（※岩手県産リンゴはこれらの1.5～8倍の価格で販売しました）。



Facebook の広告例



1月上旬にリンゴが岩手県からハノイに到着したのち、MY OSHI のスタッフの方々と協力してリンゴを販売しました。先の調査結果から岩手県産リンゴを旧正月の贈答用として販売する方針を立て、Facebook とバイクを活用して 3.8 トン全てを売り捌きました。

4 本留学支援制度に参加しての感想・協賛企業へのメッセージ

本留学制度は従来の留学制度と比較して、留学生の経済的負担を大幅に軽減しながら個々人の留学の自由度が大幅に高くなっている、非常に良い留学制度であると感じました。地域の協賛企業様には金銭面だけでなく事前事後インターンシップの受け入れまでお世話になり感謝できません。留学のための準備と地域への還元が目的ではありますが、その過程で地元の企業に務める方々と親交を深め、大学の講義では決して得られない様々な知識や価値、人脈を得ることができました。協賛企業の方々には今後も、岩手県から一人でも多くの学生が海外へ飛び立てるように、この素晴らしい制度を継続させていただきたいと願っております。

5 留学費用について

*総費用 64 万円（往復渡航費 10 万円、語学学校授業料 16 万円、保険料 3 万円、現地交通費 12 万円、国内交通費 3 万円、家賃 0、食費 10 万円、交際費その他雑費 10 万円）

*自己負担：8 万円

6 語学力について

現地では主にベトナム語と英語、日本語を使用しました。渡航前、ベトナム語は全く話せない状態でしたが、この留学を通じて現地の方々とは日常会話に困らないレベルまで上達しました。英語についてもこの留学を通じて、不自由なく意思疎通を図れるレベルに上達しました。

7 ネット環境

ベトナム(少なくともハノイとダナン)ではあらゆるカフェ・レストランに Wi-Fi が設置されており、さらにスマートフォンの通信契約が簡単ですので通信には困りません。SIM とパケット代を支払うプリペイドカードが市内の多くの店で購入可能ですので、渡航する方は SIM フリーのスマートフォンを携帯することをお勧めします。

8 食べ物について

日本のコンビニ以上の密度で、ハノイ市内にはローカルの食堂が至る所に存在します。Pho、Bun、Mien だと 150 円前後とリーズナブルですが、全ての食材は産地不明です。観光エリア以外の食堂では基本英語が通じません。ですが積極的に愛想良くニコニコしていればベトナム語が話せなくても料理が提供されますしボッタくられることも無いと思います。

口田 脩太

岩手医科大学 医学部 6年

留学先： ハンガリー ブダペスト・ペーチ

留学期間： 2019年2月～3月（1.5か月）



1 留学テーマ

ハンガリーペーチ大学での短期留学

2 事前事後インターンシップでの取り組み内容及び成果

事前・事後インターンシップにおいては岩手医科大学循環器医療センターにて研修を行った。留学自体が6週間と短く、現地での経験をより良いものとするため、事前インターンシップでは、循環器内科森野教授にご協力いただき、メジャーな疾患の症例を担当させていただくことで、基本的な知識、検査や治療法について学習した。合わせて、日本の医療制度や病院の勤務実態なども把握することができた。

事後インターンシップでは、留学後の新たな視点を持った状態でメジャー疾患の症例について学習することで、ペーチ大学で経験したこと、現地の医療制度について学んだことなどを改めて比較し、再確認することができた。また、循環器内科医局会において留学の報告会を開く計画を行った。

3 留学先での取り組み内容及び成果

2週間のブダペストの語学学校では、英語をベースにハンガリー語を学習した。基本的な日常会話や医療で扱う単語などを理解できるようになり、買い物や注文などでは困らない程度、問診では細かいところまでは理解できなかったが、どんなことを訴えているかは理解できるまでは上達できた。

4週間、ハンガリーペーチ大学にて循環器内科（血管分野と心臓分野）で実習を行い、週に1回合計4つの case report を作成した。ハンガリー語で行われる診療・ハンガリー語のカルテから情報を集め、英語でまとめる作業は時間がかかったが、先生や友人に助けられながらなんとか完成させることができた。

また、岩手医科大学からペーチ大学への留学の前例を作ったことによって、優秀な後輩が留学に興味を持ってくれた。ペーチ大学の国際関係局の職員の方を訪問し、来年度も岩手医科大学からも留学生を積極的に受け入れてくださるよう打診し、良い返事をいただけた。

アンバサダー活動として、2019/3/14 に Művészetek és Irodalom Háza, Pécs で開催された Japan Nap(Japan



Day)の折り紙ブースで手裏剣の作り方や折り鶴の作り方、カエルの作り方などを教えた。

4 本留学支援制度に参加しての感想・協賛企業へのメッセージ

トビタテ留学プログラム地域人材コースにおいては県内企業様からの寄付金にて成り立っており、医学生が県内産業に関して還元できることは限られています。県内産業に対する直接的な成果をもたらすには至りませんでした。今後自分が医師として成長する過程において、この留学は自分の視野を広げる大きな出来事であったと確信しています。

無事大学を卒業し、国家試験に合格した際には、岩手県の医療に従事することによって、この経験を皆さんに還元できると考えています。広い視点を持って日々学習を怠らず、よりよい医療を提供できるよう努力してまいりたいと思います。

5 留学費用について

渡航費 15万円 往復チケット代 13万円 東京往復 2万円
宿泊費 7万円 ブダペスト 2週間 2万円 ペーチ 4週間 5万円
現地移動費 2万円
食費 5万円
語学学校授業料 2万円
ペーチ大学授業料 9万円
通信費・雑費 1万円 プリペイドSIM5GB契約 3000円

合計 44万円

6 語学力について

英語

留学前は日常会話ができるレベルであったが、留学後には専門的な内容についてある程度会話ができるレベルまで達することができた。

ハンガリー語

留学前は YES、NO もわからないレベルであったが、留学後は簡単な日常会話が可能なレベルまで達することができた。

高橋 佳苗

岩手大学 人文社会科学部 環境科学課程 4年

留学先： 英国（チェルトナム）
フィンランド（ヘルシンキ）
留学期間： 2018年8月～10月（3か月）



1 留学テーマ

「I DESIGN いわたの木製雑貨で起業！」

大学在学中に、マレーシアでパームオイルプランテーションの増大による森林破壊が起こっていることを現地で見るとの当たり前にしたこと、岩手の国産自然塗料メーカーでのインターンシップで日本人の生活における木材離れを感じたことから、森林の環境問題に関心を寄せていました。将来は、自分で木製雑貨の「I DESIGN」というブランドを岩手で作り上げたいと考えています。

「I DESIGN」という名前には、「自分の人生は自分でデザインする」ことの大切さを伝えるブランドになる願いが込められています。何かに挑戦するとき、困難なことを誰かのせいにならず、自分で自分の人生を切り開いていく。そのおもしろさを岩手の木によって伝えるブランドです。この起業を前提に、留学を通して地元企業と海外の結びつきを深めるとともに、自分の視座を高められたらという思いがあり、留学テーマを設定しました。

2 事前事後インターンシップでの取り組み内容及び成果

留学前後に岩泉純朴家具様でインターンシップを体験させていただきました。

事前インターンシップでは、家具作りの想いを学び、繊細な職人さんの手仕事のうち、簡単な作業

の手伝いをさせていただきました。また、岩泉町内の林業に関わる5社の事業所でも1日ずつ作業の手伝いや見学をさせていただきました。自分と同世代の働き手がほとんどいない日本の林業に対する危機感と、生きた物語を持つ木に関わる仕事の魅力の両方を抱え、留学に旅立ちました。事後インターンシップでは、留学内容を「岩泉の明日の林業をつくる会」にて報告させていただきました。ローカルとローカルをつなぐグローバルな役割の大切さを感じました。



岩手日報 2018年7月24日掲載

3 留学先での取り組み内容及び成果

英国の留学では、語学学校で自分の英語を生きたものにし、木製品の調査で物語を持つ木を大切にする文化があることを学びました。午前中の授業で色々な国（オマーン、チェコ、リトアニア、ベラルーシ、スペイン、ブラジルなど）から集まったクラスメイトと共に文法を中心に学びました。午後はアンティークの店などを訪れ、ものが大切に扱われる文化を感じました。

フィンランドの留学では、Aalto 大学の Open University というプログラムで、初級フィンランド語を英語で学びながら、Helsinki Design Week のボランティアを体験したり、Habitare というデザインフェアでデザインについての考えを深めたりすることができました。岩泉純木家具様とつながりのある、NIKARI という家具メーカーの工場兼ショールームを訪れ、これからの木製品業界について、女性の CEO の方と意見交換をすることもできました。

4 本留学支援制度に参加しての感想・協賛企業へのメッセージ

この度は貴重な留学の機会をいただき、誠にありがとうございました。正直にお話すると、留学前は自分で計画した留学を成功させることができるか不安に思い、押しつぶされそうな時期もありました。しかし、その不安の1つ1は、岩泉純木家具様、岩手大学国際課のみなさま、留学エージェントの担当者様、Aalto 大学 Open University の担当者様、フィンランドの家具メーカーNIKARI 様、ホストファミリーのみなさまに助けを借りながら、自分自身が丁寧に解決していく他に良い方法はありませんでした。留学の準備をしているときは、暗いトンネルのなかをずっと走っている感覚でした。しかし、留学はその先の開けた素晴らしい未知の世界でした。誰も見たことのないものを見て、誰も会ったことのない人に会って、新しい視座を手に入れることができました。今後、ご協力いただきましたみなさまへの貢献に尽力いたします。

5 留学費用について

【総費用】 88 万円

(内訳 渡航費 25 万円、学費 18 万円、宿舍費 22 万円、食費 5 万円、保険料・OSSMA3 万円、
ポケット WIFI レンタル代 10 万円、お土産代他 5 万円)

【費用負担】 自己負担 3 万円、留学奨学金 85 万円

【現地で使ったお金の割合】 現金 40%、クレジットカード (VISA) 60%

6 語学力について

【現地で使用した言語】 英語、少しのフィンランド語

【語学レベル UP】 自分の考えていることは拙い言葉でも伝えられるようになり、

以前より多くの単語を聴き取れるようになりました。

【適正レベル】 日常会話レベル (いつも自分の考えを持っていることの方が大切だと思います。)

高橋 美咲

一関工業高等専門学校 物質化学工学科 5年

留学先： タイ バンコク

留学期間： 2018年8月~9月（1か月）



1 留学テーマ

私の留学テーマは「タイの多様なコメ食文化を通して岩手の米の消費拡大を考える～三大麺から四大麺へ～」です。減反政策が解除され今後県産米の生産量増加が見込まれる中、米の消費拡大方法を考えたところ、三大麺のように麺料理の文化が根づく岩手県であれば米を使った麺料理を作ることによって効果をあげられるのではないかと考えました。よってタイにある多様な米麺料理からヒントを得て、地域に受け入れられるような新しいご当地米麺料理を作ることが最終目標としました。

2 事前事後インターンシップでの取り組み内容及び成果

- ・事前インターンシップ「岩手県南技術研究センター」様
インターンシップを通して各種分析機器の使い方を学ばせていただきました。現地の学校での円滑なコミュニケーションを図るにあたって非常に役立ちました。
- ・事後インターンシップ「岩手県農業研究センター」様
インターンシップを通して県内の農業の特性や現在栽培されている水稻育種について教えていただきました。県産米の特徴や力を入れて開発した新品種について、スマート農業に代表されるような農業以外の他分野との連携の取り組みについても学ばせて頂きました。

3 留学先での取り組み内容及び成果

現地では午前中はパトゥムワン工科大学でタイ語と化学の授業を受け、午後からは友人や先生に料理を教えていただいたり、マーケットで開催されている料理教室に参加しました。ハーブの使い方や米麺を使った料理の種類の豊富さを学ぶことができました。

また複数の寺院をめぐり、寺院での外国人観光客への対応がどのように行われているかを見学してきました。

日本発信活動としては大学内で岩手県紹介イベントを開きました。岩手県の観光地についてプレゼンし、簡単なクイズにも答えてもらいました。

4 本留学支援制度に参加しての感想・協賛企業へのメッセージ

今回の留学プログラムでは、地域に貢献できる留学がしたいという私の強い思いを、沢山の方々に応援していただき計画を実現することができました。留学を通しての内面的な成長はもちろん、地元企業様のインターンシップに参加させていただいたことで岩手県の農業についてより深い学びを得ることができました。

支援して下さった企業の皆様、応援して下さったすべての方々に厚く御礼申し上げます。

5 留学費用について

①総費用：38万円

(内訳 渡航費 8万円 宿舍費 6万円 生活費 2万円 食費 5万円 国内移動費 3万円 ビザ取得費 1万円 現地移動費 2万円 通信費・保険料 3万円 生活費 3万円 お土産代等雑費 5万円)

②費用負担：自己負担 2万円 留学奨学金 36万円

③使ったお金の割合：現金 50% クレジットカード 50%

現地の物価が安いのが幸いし、ほぼ奨学金の給付額で費用を抑えることができました。ショッピングセンターなど観光客向けの施設ではカードが使えましたが、屋台や露店では現金のみの店舗もあったので現金の使用頻度も多かったです。

6 語学力について

・現地で使用した言語：英語 タイ語

・語学レベルについて：基本的に学内では英語で会話を行いましたが英語が話せない人も多かったためタイ語も現地で学び、使用しました。タイ語では簡単なやり取りとあいさつができるようになり、英語はヒアリングとスピーキングの力が伸びたと感じています。

吉永 圭吾

岩手大学 農学部植物生命科学科 3年

留学先： 台湾 台北

留学期間： 2018年8月13日～9月21日

(1か月半)



1 留学テーマ

<かもめの玉子で岩手を発信!!>

岩手の銘菓であるかもめの玉子の販路開拓を目指しながら岩手の魅力を発信し知名度向上を目指す。

2 事前事後インターンシップでの取り組み内容及び成果

○事前インターンシップ

- ・支店視察。・台湾で行うイベントの準備。
- ・地元企業（浄法寺漆産業、タヤマスタジオ）へのヒアリング。 ・工場見学など

○事後インターンシップ

- ・さいとう製菓および地元企業への成果報告。
- ・台湾研修用資料づくり。など



事前事後インターンシップを通して伝統工芸品を扱っている地元企業のヒアリングをすることで自社の商品に対する熱意や思いを知ることができた。また、担当の社員さんと行動を共にすることで取引先とのコミュニケーションなど仕事に取り組む姿勢を学んだ。留学後は成果報告会を実地した結果、以前より海外に対する関心を高めることができた。

3 留学先での取り組み内容及び成果

○日本アンテナショップでかもめの玉子イベント

さいとう製菓様に借りていただいた日本アンテナショップで台湾人に向けて試食会を行い、200人以上からアンケートを集めた。また同時に、岩手の伝統工芸品である南部鉄器、浄法寺漆を用いて紹介をした。スタンダードのものとりんご味のを試食してもらった結果どちらも約9割の方から10段階評価中7以上の評価をいただいた。



○台湾で行われた日本物産展に参加

Touch The Japan という台湾最大級の日本物産展に参加し、今後海外での物産展の参加に向けたリサーチをした。ブースの中で特に独特な文化を体験できるものの人気があった。岩手でもわんこそばやかもめの玉子づくり体験のようなもので応用できると考えた。



○岩手紹介イベントを開催

通っていた語学学校で学生に向けて岩手紹介スライドと県産品を用いて岩手を紹介した。主にベトナム人、インドネシア人、韓国人が参加してくれた。岩手という名前を聞いたこともないというひとばかりだったが、イベント後には岩手に多くの方が関心をもってくれた様子だった。特に安比高原や龍泉洞に興味をもっていた。



○淡江大学の語学学校で中国語学習。

留学後も継続して活動を行えるように中国語を学修した。

4 本留学支援制度に参加しての感想・協賛企業へのメッセージ

本留学支援制度に参加したことで経済的に大きな助けになったことはもちろんのこと、本プログラムの事前事後研修で他県の志の高い学生達とつながりをもてたことはとても大きな財産となりました。また、今回の一連の活動を通して新しいことにチャレンジしていく精神や、前向きにもの考える精神がついた他、普段自分がいかに周りに助けられているかを思い知り、ひととのつながりに深く感謝する機会となりました。今回の留学活動を行うにあたり、ご支援してくださったさいとう製菓株式会社様をはじめ協賛企業の皆様に感謝の意を表したいと思います。また、プログラム実地に尽力してくださったトビタテ！留学 JAPAN 事務局の皆様、いわてグローバル人材育成推進協議会の皆様、さらに御指導、御助言いただきました岩手大学国際課の職員の皆様ならびに先輩方、両親にも感謝の意を表したいと思います。本当にありがとうございました。

5 留学費用について

総費用約 35 万円（内訳：渡航費約 5 万円、宿泊費約 6 万円、授業料約 6 万円、仲介料約 6 万円、保険料 1 万円、生活費約 11 万円）

6 語学力について

英語 留学前：簡単な日常会話レベル→留学後：一步踏み込んだ会話ができるようになりました。TOEIC は 5 月に受験予定です。

中国語 留学前：全くできませんでした→留学後：簡単な日常会話レベルになりました。今年度中に中国語検定 2 級を目指します。

PRポスター・チラシ／「ふるさと発見！大交流会 in Iwate」へのブース出展

PRポスター・チラシ

平成31年度学生募集に向け、PR用ポスター200枚、チラシ1,000枚を作成。各高等教育機関及び協議会会員に配布し、当留学制度を周知しました。



「ふるさと発見！大交流会 in Iwate」へのブース出展

岩手に定着し活躍する若者を増やすことを目的に、県内大学や経済団体が連携し実施した「ふるさと発見！大交流会 in Iwate」に岩手大学と連携し協議会ブースを出展。海外派遣を終えた学生から留学生支援事業の紹介や自己の留学体験を来場者に広くPRしました。

【イベントの概要】

- ア 主催 ふるさと発見！大交流会 in Iwate 実行委員会、ふるさといわて創造協議会
- イ 開催日 平成30年12月15日(土)
- ウ 会場 岩手産業文化センター（アピオ）
- エ 参加者数 約1,700名



出展ブース



来場者に説明する派遣学生

「いわてグローバル人材育成推進協議会」会員企業・団体

(五十音順)

第1号会員

団体

公益財団法人岩手県観光協会 岩手県商工会連合会	一般社団法人岩手県建設業協会 岩手県中小企業団体中央会	岩手県商工会議所連合会
----------------------------	--------------------------------	-------------

企業

I GRいわて銀河鉄道株式会社 株式会社アイピーシー岩手放送 株式会社岩手県北自動車 株式会社いわてラボ 株式会社ゴーイングドットコム JI-GLOBA 株式会社 白金運輸株式会社 株式会社中央コーポレーション 株式会社トーノ精密 株式会社日ピス岩手一関工場 花巻温泉株式会社 株式会社水沢鋳造所 盛岡ターミナルビル株式会社 谷村電気精機株式会社 和同産業株式会社	株式会社アイカムス・ラボ いわぎん事業創造キャピタル株式会社 株式会社岩手日報社 及源鑄造株式会社 株式会社サラダファーム（エッグデリカ） JTB 東北法人営業盛岡支店 株式会社西部開発農産 株式会社テレビ岩手 株式会社ナレロー 株式会社ニュートン 株式会社ベスト みちのくコココーラボトリング株式会社 株式会社盛岡地域交流センター リコーインダストリアルソリューションズ株式会社花巻事業所	アイシン東北株式会社 株式会社岩手銀行 株式会社岩手ホテルアンドリゾート 株式会社北日本銀行 サンボット株式会社 株式会社十文字チキンカンパニー 株式会社千田精密工業 株式会社東北銀行 株式会社南部美人 八幡平リゾート株式会社 株式会社ミクニ 美和ロック株式会社盛岡工場 株式会社柳家
--	--	--

機関

岩手県	岩手大学	公益財団法人岩手県国際交流協会
-----	------	-----------------

第2号会員

団体

一般社団法人岩手経済同友会 岩手県中小企業家同友会 独立行政法人国際協力機構東北センターJICA 岩手デスク	一般社団法人岩手県医師会 いわて高等教育コンソーシアム	岩手県森林組合連合会 公益財団法人いわて産業振興センター 公益財団法人ふるさといわて定住財団
--	--------------------------------	--

企業

株式会社アイシーエス 株式会社岩手めんこいテレビ 株式会社小林精機 株式会社タカヤ 東京エレクトロン東北株式会社 株式会社長島製作所 株式会社ユアテック岩手支社	岩手県空港ターミナルビル株式会社 川嶋印刷株式会社 三陸鉄道株式会社 株式会社デンソー岩手 東京海上日動火災保険株式会社盛岡支店 富士ゼロックス岩手株式会社	岩手県産株式会社 けせんプレカット事業協同組合 株式会社ジャパンセミコンダクター 株式会社東亜電化 東北電力株式会社岩手支店 富士通株式会社岩手支店
--	---	---

市町村

盛岡市 北上市 雫石町 西和賀町	大船渡市 一関市 紫波町 軽米町	花巻市 奥州市 矢巾町
---------------------------	---------------------------	-------------------

